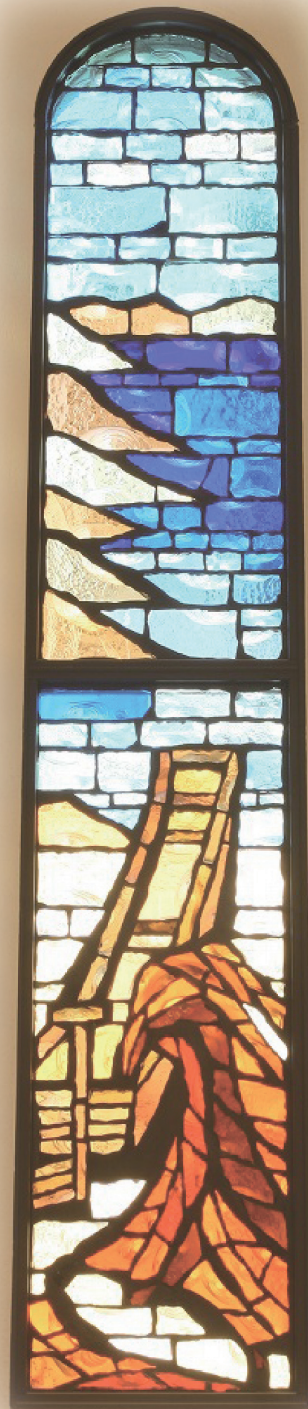


2024 年度 教職者参加ゼミナール

このゼミナールは、本校の最終学年の特別講義および演習を教職者と学生の共同研究の場とし、教会と神学教育の結びつきをいっそう緊密にする目的で行われている。

日本聖書神学校 教務部

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp



■ 講義期間 4月～10月

※各講義によって開講期間が異なりますのでご注意ください。

※休講等により授業回数・日時が変更になる場合があります。

※正科生（4年生）の受講希望が無い場合、開講されません。

※東京から離れた地域など、通学が困難な方のため、各科目3名までオンライン（Zoom）受講を受け入れます（原則として先着順）。

■ 場 所 本校校舎（JR目白駅徒歩10分）

■ 参加資格 キリスト教教職者で、教授会で適当と認められた者

■ 参加費 1科目 15,000円

■ 申込〆切 3月24日（日）

■ 申込先 本校教務部宛に申込書（または必要事項）をメール等で送付してください。

授業日・時間 水曜 18:15 ~ 19:45

4月10日、4月17日、4月24日、5月1日、5月8日、5月15日（短縮 18:15-19:30）、5月22日、5月29日、6月5日、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日、7月10日、9月11日、9月18日、9月25日、10月2日、10月9日、10月23日の20回

講義概要

「マルコによる福音書」を原典から注解書・各種の翻訳などを用いて精読し、釈義することを通して、「マルコによる福音書」が示す物語的特徴、また神学的特徴についても触れる。

授業内容

- 1 ガイダンス
- 2 「マルコによる福音書」概論
- 3 注解書の読み方
- 4～18 受講者希望箇所による釈義（各学生の発表と考察）
- 19 マルコによる福音書執筆時代についての考察
- 20 まとめ

教科書

The Greek New Testament, United Bible Societies, 3rd ed. (Corrected) 以降
または、Nestle-Aland, *Novum Testamentum Graece*, 26th ed. 以降
各種翻訳聖書

参考書

ウイリアムソン L、『マルコによる福音書—現代聖書注解—』、山口雅弘訳、日本基督教団出版局、1987
大貫 隆、『マルコによる福音書（1）（リーフバイブルコメンタリー）』、日本基督教団出版局、1993
シュヴァイツァー E.、『マルコによる福音書—N T D 新約聖書注解』、高橋三郎訳、N T D 新約聖書注解刊行会、1986
田川建三、『マルコ福音書上巻（現代新約聖書注解全書）』、新教出版社、1972
デン・ヘイヤール、C. J.、『コンパクト聖書注解 マルコによる福音書 I』、伊藤勝啓訳、新教出版社、1996

備考

初回のガイダンスで授業の進め方について説明する。

授業日・時間 木曜 18:15 ~ 19:45

4月11日、4月18日、4月25日、5月2日、5月16日（短縮 18:15-19:30）、5月23日、5月30日、6月6日、6月13日、6月20日、6月27日、7月4日、7月11日、7月18日、9月12日、9月19日、9月26日、10月3日、10月10日、10月17日の20回

講義概要

レビ記と民数記を主に読む。ここには特に捕囚後のイスラエルを支えた祭司たちの神学が提示されている。そこには神を守るための装置ともいべき犠牲と祭儀、共同体の秩序を守るための法が多く残されている。もちろん、出エジプト記の「契約の書」と呼ばれる法も重要だが、捕囚後のユダヤ教共同体の残したとみられるレビ記や民数記の法の方がリアルな力を持つようにも見える。

後にイエスが対決した「律法主義」とは捕囚後のユダヤ教の法と伝統だとすると、このレビ記と民数記の法を検討することはイエスを理解するうえで非常に重要であるのは言うまでもない。

この授業を通じて、キリスト教の土台としての旧約の可能性と限界を検討したいと思う。

授業内容

まず、レビ記における犠牲論、祭儀や安息日、ヨベルの年の意義、さらに神聖法集の重要性について、皆で検討する。続いて、民数記に見られるイスラエル内部の対立と闘争、そして土地取得にかかわる問題について検討する。

毎回、担当を分担し、各人の検討を発表してもらい、皆で議論する。発表者は講解説教を一つ書くつもりで授業に臨んでほしい。

教科書

邦訳『聖書』、BHS

参考書

授業中に指示する

備考

授業日・時間 木曜 19:55～21:25

4月11日、4月18日、4月25日、5月2日、5月16日(短縮 19:35-20:50)、5月23日、5月30日、6月6日、6月13日、6月20日、6月27日、7月4日、7月11日、7月18日、9月12日、9月19日、9月26日、10月3日、10月10日、10月17日の20回

講義概要

本講義では、キリスト教独自の神観である三位一体を取り上げる。20世紀の終わり頃から再考され頻りに議論されるようになった現代三位一体神学によって提起された諸問題を概観する。その際、この教理の発展が単なる知的な考察の発展によって生じたものというのではなく、すでに聖書に暗黙の内にある内容を明確化し定義づけたものとして捉え、三位一体論は教会が礼拝の中で経験する信仰を表明する企てである点を重視しながら見ていく。今日の私たちとどのように関わりがあるのかを、またどのような点で問題があるのかを主だった三位一体神学者たちの見解を吟味し、教会におけるこの教理の理解を深めることを目的とする。

第1～10回までは講義形式をとり、「三位一体とは何か」といった本質とその特徴、意義といった基本的序説を概観していく。第11回以降は、課題図書のリポート発表を各章毎に受講者に行ってもらい、その後は、各々が取り組んでいる卒論に関連する発題をしてもらい、受講者全員でフィードバックと討論を行うので担当箇所以外もノートを作成してください。

【達成目標】

履修者は、キリスト教教理史の履修を通して習得した、キリスト教信仰についての基礎的な理解を土台としつつ、より具体的にキリスト教信仰全体を貫く思想内容を把握することが期待される。第一部においては、三位一体に対する一般的な誤解やステレオタイプに対して、正確な歴史理解に基づいた批判的理解を獲得することを目指す。第二部では、現代において試みられている聖書において現された三位一体の神理解が、具体的に各キリスト教教理への刷新として展開されていることを確認し、その視点を現代の特に西方教会に対する批判と、さらに本来の恵みの回復のためのヴィジョンを獲得することを目指す。そして、三位一体がいかに恵み豊かな教理であるのかを体感することを目指していきたい。

授業内容

1. オリエンテーション 講義の概観とイントロダクション
2. 三位一体の独自性～忘れられた？ or 論争の基？
3. 聖書と三位一体
4. 教理(教義)と三位一体～三位一体の神秘～
5. 一にして三、三にして一
6. 信条・信仰問答と三位一体
7. 西方教会の三位一体論における特徴と批判①
8. 西方教会の三位一体論における特徴と批判②
9. 東方教会の三位一体論における特徴と批判
10. 三位一体論が本来含み持つ豊かさ
11. 学生による発表～テキスト序章、第1章「礼拝——ユニテリアンのか三位一体的か」
12. 学生による発表～テキスト第2章「礼拝の仲保者であるキリストの唯一の祭司職」
13. 学生による発表～テキスト第3章「洗礼と主の晩餐——交わりの道」
14. 学生による発表～テキスト第4章「男女の性別と三位一体」
- 15～20. 学生による発題(卒論と関連させて。もしくは他のテキストを用いて)

教科書

(受講者に各章毎のリポート発表をしてもらいます)

・ジェームス・B・トーランス著『三位一体の神と礼拝共同体』、有賀文彦・山田義明訳、一麦出版社、2015年。

参考書

- ・ *The Forgotten Trinity: The BCC Study Commission on Trinitarian Doctrine Today Report, Study Guide and a Selection of Papers*, The British Council of Churches, 1989
- ・ アリスター・E・マクグラス編著『キリスト教神学資料集 上下』、古屋安雄監訳、キリスト新聞社、2007年、2013年

授業日・時間 火曜 18:15～19:45

4月9日、4月16日、4月30日、5月7日、5月14日（短縮 18:15-19:30）、5月21日、5月28日、6月4日、6月11日、6月18日、6月25日、7月2日、7月9日、7月16日、9月17日、9月24日、10月1日、10月8日、10月15日、10月22日の20回

講義概要

キリスト教宣教の本質的意味については伝統的理解が継承されて来たが、「宣教の解釈」については各時代の影響を受けて多様性を極めていく。4年生を対象とした授業であるため、宣教の基本的意味に触れながらも近現代における宣教の新しい展開（特にエキュメニカルな視点）に重点を置きつつ、キリスト教のみならず他宗教との「対話」を目指した今日の宣教の在り方を模索する。学生による発表の機会を持ち、参加者間で討議する。また新しい礼拝音楽と現代文化と取り入れた礼拝スタイル（コンテンポラリー礼拝）を実践的に学ぶ機会も持つ予定である。

授業内容

- 授業1 第1部：講義概要の説明・宣教の伝統的意味1
- 授業2 宣教の伝統的意味2
- 授業3 宣教の伝統的意味3
- 授業3 宣教の伝統的意味4
- 授業4 宣教の今日的意味1（エキュメニカルな視点から）
- 授業5 宣教の今日的意味2（エキュメニカルな視点から）
- 授業6 宣教の今日的意味3（エキュメニカルな視点から）
- 授業7 今日における宣教（発表概要の説明）
- 授業8 エキュメニカルと福音派の間1（宣教の目指す道）
- 授業9 エキュメニカルと福音派の間2（宣教の目指す道）
- 授業10 第1部：結び・第2部：講義概要の説明
- 授業11 発表と討議1（他宗教との対話を目指して）
- 授業12 発表と討議2（他宗教との対話を目指して）
- 授業13 発表と討議3（他宗教との対話を目指して）
- 授業14 発表と討議4（他宗教との対話を目指して）
- 授業15 発表と討議5（他宗教との対話を目指して）
- 授業16 エキュメニカルな宣教実践に向けて1（発表者意見の集計・討議）
- 授業17 エキュメニカルな宣教実践に向けて2（諸宗教に対する理解）
- 授業18 コンテンポラリー礼拝について1（概要の説明）
- 授業19 コンテンポラリー礼拝について2（礼拝デザイン）
- 授業20 振り返り

教科書

WCC 世界教会協議会編『宗教間の対話と共生のために エキュメニカルな指針』（NCC 宗教研究所双書）新教出版社、2006年、1,000円（税別）

参考書

- ①石田学、松田和憲、鈴木脩平、濱野道雄『宣教ってなんだ？』キリスト新聞社、2012年、1,680円（税込）
- ②WCC 世界宣教・伝道委員会編『現代の宣教と伝道』（教会と宣教双書16）（翻訳）新教出版社、1991年2月5日、1,600円（税込）
- ③ジョン・R・ヒネルズ編『世界宗教事典』（翻訳）青土社、1991年2月10日、4,900円（税込）
- ④V. ファベリア、R.S. スギルタラージャ編『〈第三世界〉神学事典』（翻訳）日本キリスト教団出版局、2007年2月25日、5,600円（税別）
- ⑤デイビッド・J・ボッシュ『宣教のパラダイム転換下』（翻訳）新教出版社、1999年11月9日、7,875円（税込）

備考

講義を進める中で順次参考文献を紹介する。

2024 年度 日本聖書神学校 教職者参加ゼミナール申し込み書

申込日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

フリガナ

名前

住所

電話

メール

教会

出身神学校

希望受講科目

受講方法

対面 ・ オンライン (Zoom)

どちらかに○

申込先 日本聖書神学校 教務部

〒 161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16
Tel: 03-3951-1102 Fax: 03-3951-3044
Email: kyomu@jbts.ac.jp

※メールでの申込の場合、メール本文に各事項を記載していただいてもさしつかえありません。